



2023年6月7日

各位

会社名 グローバルセキュリティエキスパート株式会社
代表者名 代表取締役社長 青柳 史郎
(コード：4417 東証グロース)
問合せ先 代表取締役副社長 原 伸一
(TEL 03-3578-9001)

中期経営計画に関するお知らせ

2024年3月期を初年度とした3年間の中期経営計画(2024年3月期~2026年3月期)につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 目標とする経営指標

(単位：百万円)

	2024年3月期 (当事業年度)	2025年3月期	2026年3月期
売上高	7,000	8,800	11,000
営業利益	1,085	1,584	2,200
営業利益率	15.5%	18.0%	20.0%

2. 中期経営計画公表の理由

2022年10月19日に公表した2023年3月期を初年度とした3年間(2023年3月期~2025年3月期)の中期経営計画を更新するものです。

既存事業で年率25%の売上成長と、営業利益率の向上を重視する経営方針に変わりはなく、2023年3月期の経営成績を踏まえ、2024年3月期及び2025年3月期の売上高・営業利益の目標額を引き上げ、新たに2026年3月期の目標とする経営指標を設定しました。

なお、2024年3月期(当事業年度)の目標とする経営指標は、2023年4月27日に開示した「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」における2024年3月期の通期業績予想と変更ありません。詳細は添付資料をご参照ください。

本開示の内容は、2023年6月下旬に開示予定の「事業計画及び成長可能性に関する事項」に反映いたしますが、投資家との対話において、中期経営計画の更新については「事業計画及び成長可能性に関する事項」の開示を待たずに、速やかな公表を望む声をいただいたことから、本日公表することといたしました。

ご参考：前回（2022年10月19日公表）の中期経営計画、今回公表の中期経営計画
及び2023年3月期の経営成績（実績値）

（単位：百万円）

		2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
前回公表 (2022年10月19日 公表)	売上高	5,400	6,700	8,400	—
	営業利益	701	1,039	1,512	—
	営業利益率	13.0%	15.5%	18.0%	—
今回公表	売上高	(実績) 5,558	7,000	8,800	11,000
	営業利益	(実績) 736	1,085	1,584	2,200
	営業利益率	(実績) 13.3%	15.5%	18.0%	20.0%

以 上

GSX

GLOBAL
SECURITY
EXPERTS

グローバルセキュリティエキスパート株式会社

4417

GSX MEDIUM-TERM MANAGEMENT PLAN 2026

中期経営計画 2026

2023.6

日本全国の企業の自衛力向上を目指し、セキュリティ業界全域で事業を展開する

サイバーセキュリティ教育カンパニー

— Purpose —

全ての企業をセキュリティ脅威から護る
そのために必要なことを惜しげもなくお伝えする

— Mission —

日本全国の企業の自衛力を向上すること

コンサルティング 事業

- ✓ コンサルティングサービス
- ✓ 脆弱性診断サービス
(タイガーチームサービス)

教育事業

- ✓ セキュリティ訓練サービス
- ✓ セキュリティ教育講座

日本全国の企業の
セキュリティレベル向上を
支援する
4つの事業ドメイン
を展開

ITソリューション 事業※

- ✓ ITインフラ構築
- ✓ バイリンガルSESサービス
など

※事業譲受により2021/3期から開始

セキュリティ ソリューション事業

- ✓ セキュリティ製品の導入
- ✓ 運用サービスなど

IoT、クラウドの利用も含めたDXの推進やテレワークの増加等により、「つながる」相手が増え、組織における内外の脅威は変化し、様々なインシデントが発生

内部からの脅威

【故意】社員や関係者による脅威

- 不正な持ち出し
(個人情報/機密情報の漏えい)

S工業：外国企業からの接触による機密情報漏洩
I社：委託先従業員による顧客情報持ち出し
S社：従業員による同業他社への転職時の機密情報持ち出し

【過失】社員や関係者による脅威

- システムの誤設定/メールの誤送信
(情報漏えい、情報の消失・改変)

M社：就活生へのメール誤送信
A社：メルマガの宛先をBCCではなくCCで送信
R社・P社・AB社他：Salesforceの設定ミス

サイバー攻撃による脅威

海外グループの脅威

- 海外グループ会社への攻撃
(生産停止、情報漏洩)

D社：メキシコ、ドイツの子会社
B社：アメリカの子会社
P社：カナダの子会社
D証券：イギリスの子会社

サプライチェーンの脅威

- サプライチェーンへの攻撃、脆弱性、管理ミス
(生産停止、情報漏洩)

T社：サプライヤのサイバー攻撃により、一時全工場生産停止
K社：同社のサービス利用によりランサムウェアの被害
T社：販売店の個人情報漏洩

外部からの脅威

- 不正アクセス
(アカウント窃取、WEBサイトの脆弱性)

MD社：Office365のアカウント窃取→情報流出
ECサイト（複数）：個人情報、クレジットカード情報漏洩

- 標的型攻撃(ランサムウェア)
(機密情報漏えい、生産・サービスの停止)

米P社：操業停止
K社：サービス停止
N社：決算報告の遅延
H社：国内外オフィス閉鎖、工場操業停止

ターゲット

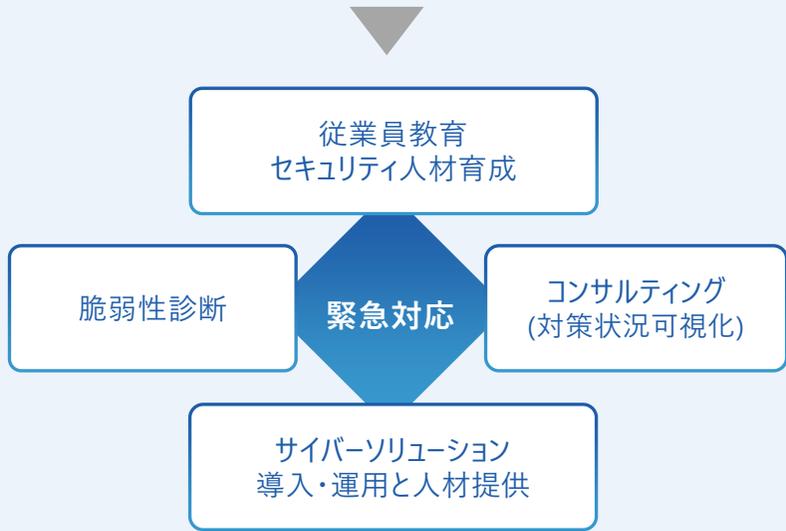
中堅・中小企業 (エンドユーザ)

GSXの提供価値



中堅・中小企業に必要な
セキュリティサービスをフルラインナップ

サービス内容



IT企業・SIer



セキュリティ教育・資格制度で
IT人材を**プラス・セキュリティ人材**へ



- **国内発** 認定脆弱性診断士
- セキュアなWebアプリケーション設計士
- ゼロトラストコーディネーター
- 国際的に著名なホワイトハッカー養成講座
- 国際的に著名な情報セキュリティマネジメント講座

セキュリティ事故頻発

過去1年間でインシデントを経験した組織は
約8割

未発見・未経験

実被害前に鎮火

35%



過去1年間に
インシデントを経験した組織

79%

44%

システム停止や
情報窃盗など実被害に発展



出所：「2020年法人組織のセキュリティ動向調査」（トレンドマイクロ）

社会圧力

各所からのセキュリティ対策プレッシャー

国や各省庁から降りてくる多数の
セキュリティガイドライン

発注側やグループ会社からの
セキュリティ対策圧力が強まる

中堅・中小企業

DX化の加速

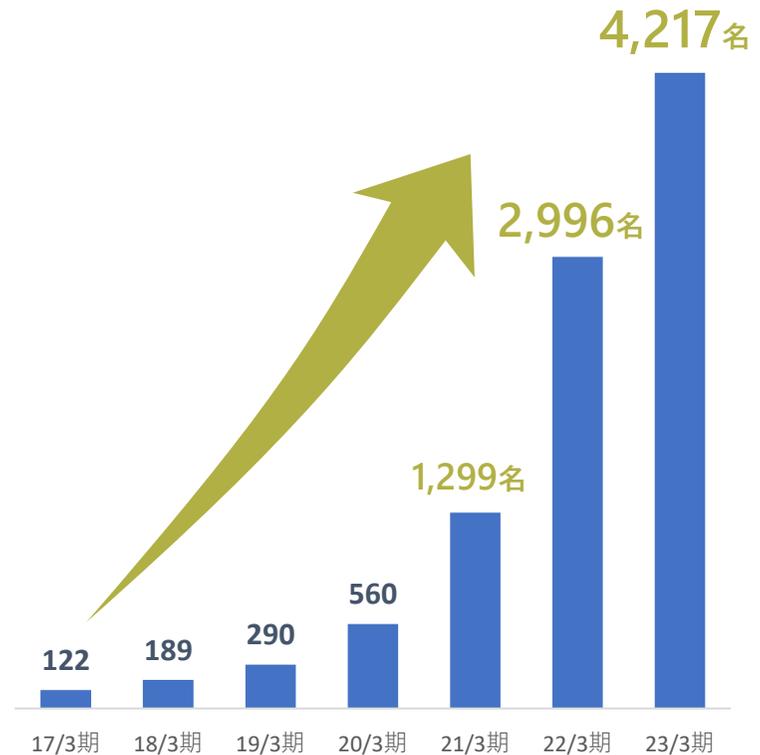
DX推進は、セキュリティ対策とセットで

- ✓ 企業競争力向上にはDX化が急務
- ✓ DX推進はセキュリティ対策とセットで行う必要がある



大企業においては、セキュリティ対策は常識となったが、
中堅・中小企業においてもセキュリティ対策をせざるを得ない状況に

GSX 教育講座 受講者数の推移（単年度）



経済産業省「サイバーセキュリティ体制構築・人材確保の手引き」でも「**プラス・セキュリティ**」※人材の確保を提言

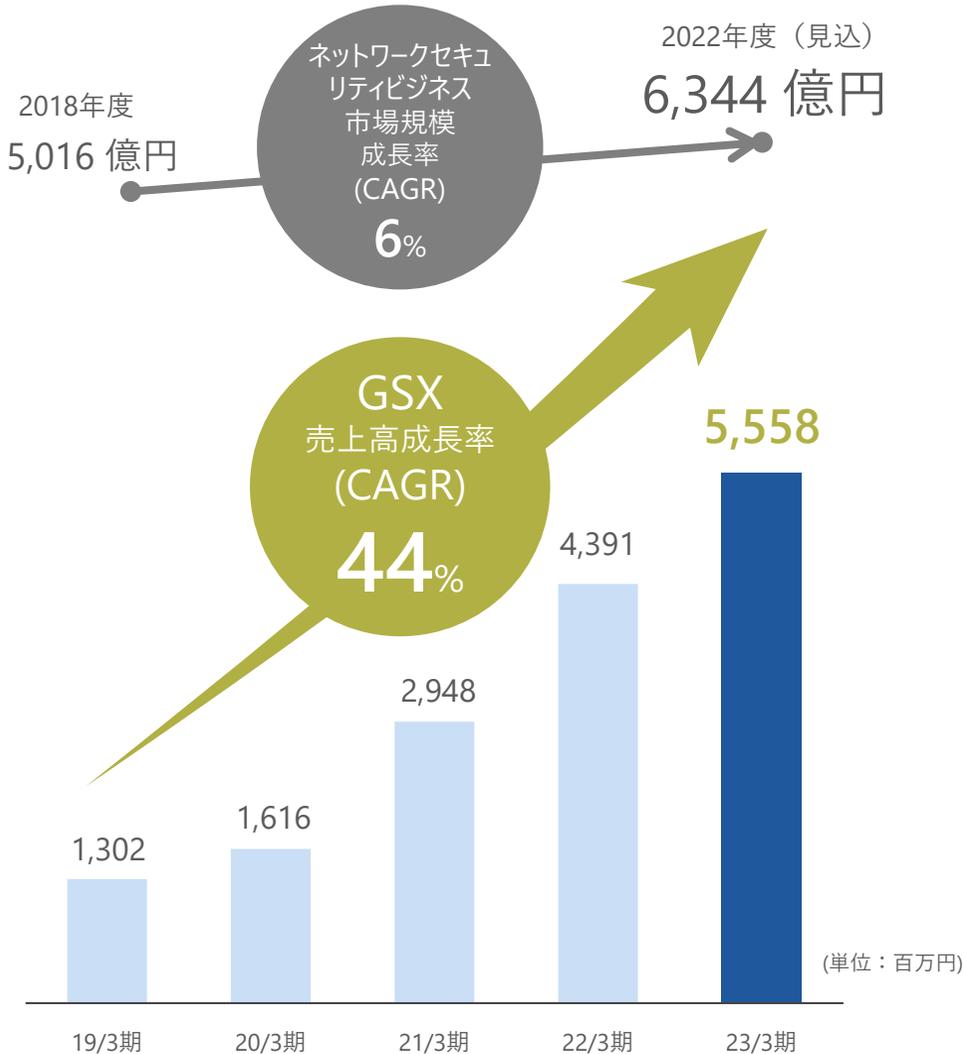
IT企業・SierのIT人材に向けた **セキュリティ教育ニーズが一気に高まっている**

※「プラス・セキュリティ」:

自らの業務遂行にあたってセキュリティを意識し、必要かつ十分なセキュリティ対策を実現できる能力を身につけること、あるいは身につけている状態のこと

GSXの成長率はセキュリティ市場をはるかに上回る

売上高成長率（CAGR）は44%と市場成長率6%を上回る水準で推移



出所：2022ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（市場編）株式会社富士キメラ総研

GSXの高成長の理由と今後の展望

理由 1 中堅・中小企業における
セキュリティ対策ニーズの飛躍的向上

展望

現時点でホワイトスペース
今後さらにすそ野が広がっていく

理由 2 IT企業・SIerにおける
セキュリティ教育ニーズの飛躍的向上

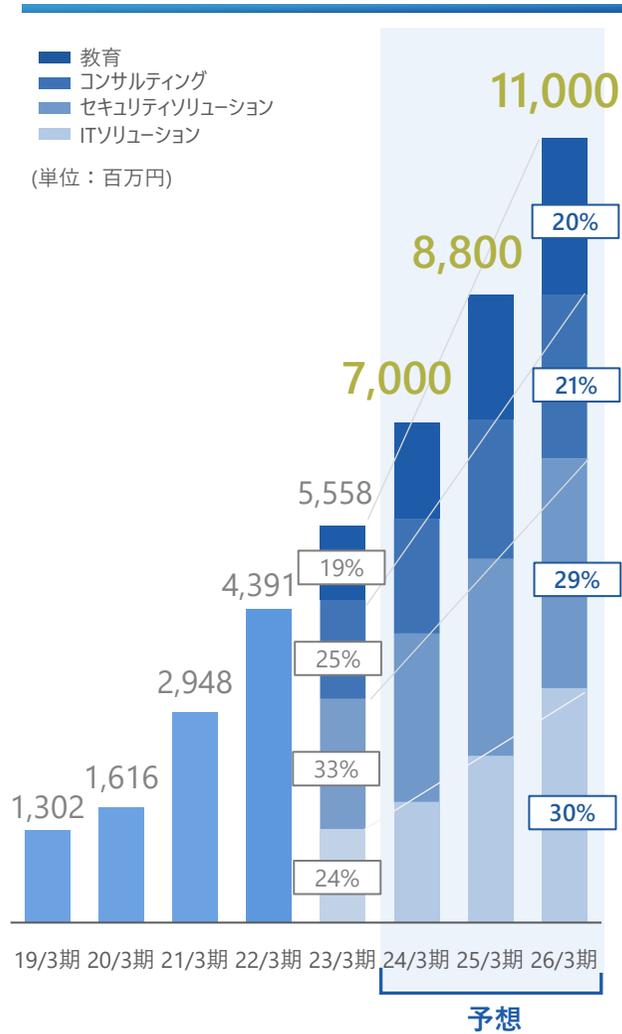
展望

ITエンジニアのセキュリティスキル取得が
デファクトスタンダードへ

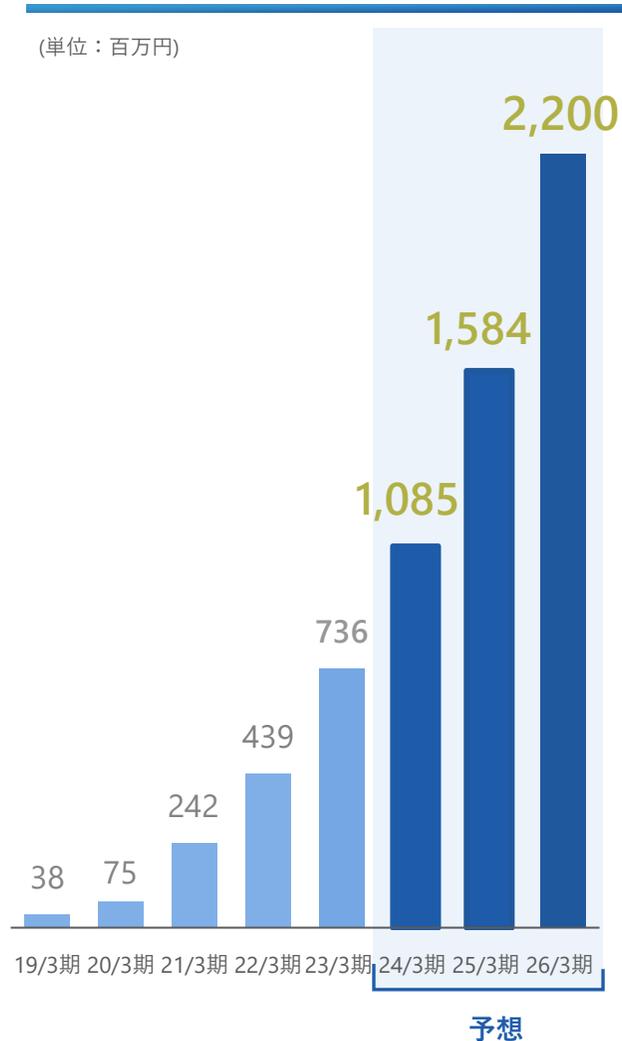
既存事業で 年率25%の売上成長

営業利益率の向上を重視し、持続的な成長を支える強固な経営基盤に

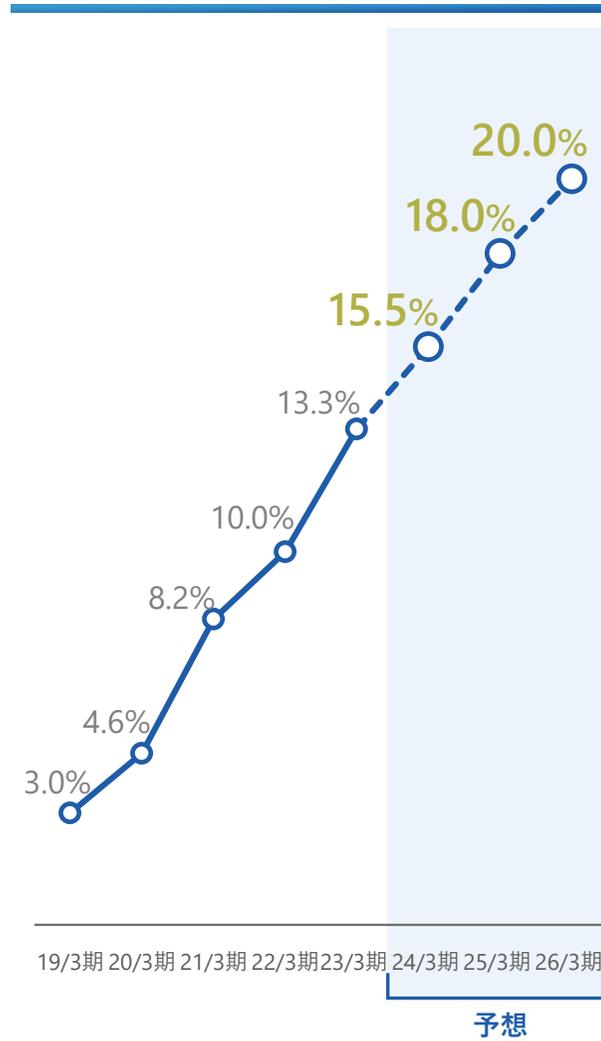
売上高および売上構成比



営業利益



営業利益率



売上高

- ✓ 中堅・中小企業のセキュリティ対策ニーズは引き続き旺盛
- ✓ アップセル・クロスセルを徹底し、全事業がまんべんなく成長
- ✓ IT企業・SIerのセキュリティ人材育成ニーズは引き続き旺盛

営業利益

売上総利益率
Up

セキュリティ教育コンテンツの拡充と**オンライン・オンデマンド配信の活用**

売上総利益率
Up

各事業での**自動化/AI化・フレームワーク採用**

売上総利益率
Up

地方都市を中心にデリバリーパートナー企業を育成
固定人件費を膨らませずにサービス提供のリソースを充足

販管費率
Down

販売パートナー企業の拡大、業界連携による**効率的な販売活動の実現**

※既存事業での中期経営計画であり、新規事業等の影響は織り込んでおりません。

この資料は投資家の参考に資するため、グローバルセキュリティエキスパート株式会社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。

当資料に記載された内容は、国内の経済状況、およびグローバルセキュリティエキスパート株式会社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されており、本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含んでおります。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

予想にあたって前提とした内容に大きな変化が生じた場合には改めて業績予想を見直し、開示すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

今回の開示内容を反映した「事業計画及び成長可能性に関する事項」につきましては、2023年6月下旬に更新する予定です。

本資料は、グローバルセキュリティエキスパート株式会社の株式購入など投資を勧誘する目的で作成されたものではありません。

GSX

GLOBAL
SECURITY
EXPERTS